

食物の嗜好傾向と性格に関する研究（I）

中山 郁子・藤江 奏

Ikuko NAKAYAMA and Susumu FUJIE : Studies on the Relationship
between One's Taste for Food and Personality (I)

I 目 的

偏食および極端な好き嫌いなど、食物に対する嗜好の問題が、我々の肉体的健康に直接関連があることはいうまでもないが、それのみではなく、その人の性格形成にも何らかの影響をおよぼしているであろうことは容易に推察される。たとえば、自殺をするような人や偏くつな人⁽¹⁾⁽²⁾には偏食する人が多いといわれるのもそのようなことであろう。

このように食物の嗜好がその人の性格と何らかの関連性があるであろうと考えられているにもかかわらず、この面についての研究はなされていなのが現状である。従って、本報においては、この問題を取り上げ中学生を対象に男女の性別および年令別による嗜好の相異、および食物に対する嗜好傾向を調べ、同時に性格テストを実施してその嗜好との関連性について研究をおこなった。その結果、いくつかの興味ある知見を得たので報告する。

II 調 査 方 法

調査対象は、島根大学教育学部附属中学校の昭和43年度在學生と昭和44年4月入學生合わせて男子354名、女子265名であった。なお、回収率は85%である。

食物に対する嗜好調査は、日常一般に食されている食品164種を列挙し、それぞれについて「大好き」から「大嫌い」まで5段階法により数字を記入させた。但し、「食べたことがない」食品には0を記入させた。

回収された資料は、男女別、学年別、クラス別に集計し、各食品毎の平均を算出し各種統計処理を行なった。

性格検査は、矢田部・ギルフォード性格検査を用いた。

調査は、昭和43年2月と昭和44年7月に実施された。

III 結 果 お よ び 考 察

1 食品の嗜好傾向ならびに相互関係

男女それぞれの学年別嗜好傾向は、第1図および第2図に示されるとおりである。

男女ともほぼ同じ傾向のグラフを示した。すなわち、嗜好度2以下については、学年による変化は全くなく、嗜好度3, 4, 5では、学年があがるにつれて嗜好度が低下する傾向がみられた。この傾向は、女子より男子に顕著にみられた。

各学年の男女別平均嗜好度は、第1表に示されるとおりである。

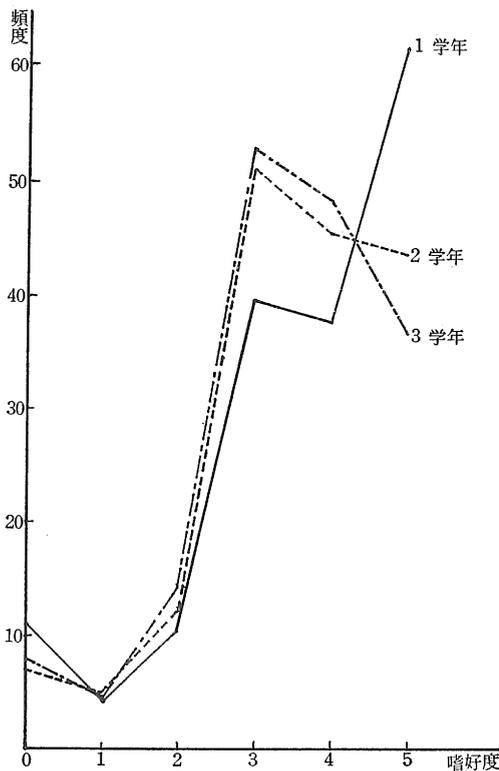
性別		1	2	3
男	子	3.92±0.17	3.70±0.11	3.64±0.16
女	子	3.76±0.07	3.77±0.06	3.58±0.12

※ 標準偏差

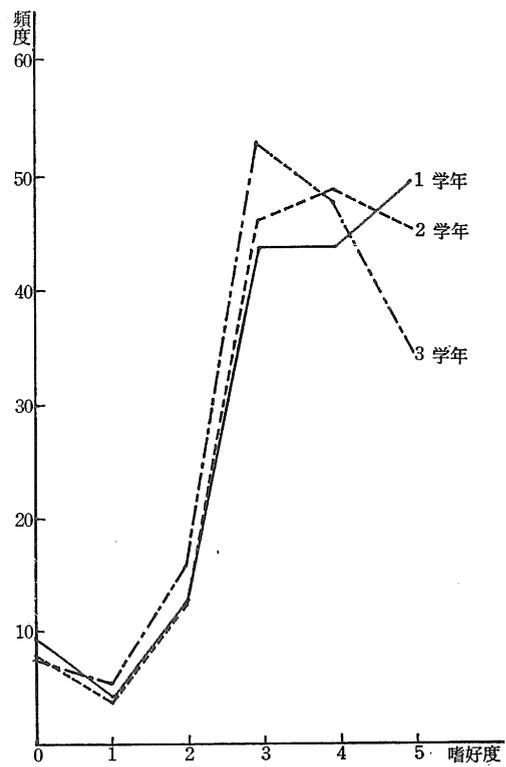
第1表によれば、男子は1学年と3学年の間に、女子では1, 2学年と3学年の間にそれぞれ有意の差がみとめられた。

これらから、学年があがるにつれて嗜好度が低下する傾向があると言えよう。

年齢別による嗜好度の変化については、



第1図 学年別嗜好傾向 (男子)



第2図 学年別嗜好傾向 (女子)

甘味に対する嗜好が年齢とともに変化するという報告⁽³⁾もあり、今後、別の機会に対象者の年齢層をひろげてくわしく調査したいと思う。

次に164の食品を20種類に分類し、各クラス毎に男女別の各食品群の平均値を算出して、平均値の高い順に上から並べたものが第2表である。

第2表から明らかなように、男女によって食品群の順序には若干のちがいがみられ、特に肉

類は女子に比べ男子によく好まれる傾向が特徴であった。

全体的な傾向としては、甲殻類、菓子、嗜好品、果物、瓜類、卵などが好まれ、根菜、葉菜、香辛料、魚貝類などは好まれない食品であると言える。

以下、各食品群について検討する。

肉類、卵、乳およびその加工品における嗜好傾向は第3表に示されるとおりである。なお、各食品の順序は男女あわせた平均の高い順に並べられている。以下の表についても同様である。

肉類では、男女とも牛肉を最も好んでおり、ついで豚肉、鶏肉の群、そして鯨肉、レバー・もつの群という3つの群に分けられるようである。なお、それぞれの群間に明らかな有意差がみとめられた。また、肉類平均嗜好度、豚肉、鯨肉およびレバー・もつで男女間に明らかな有意差がみられ、いずれにおいても、女子より男子が高い嗜好度を示した。

学年別には、全体として学年があがるにつれて男子では嗜好度が低下する傾向がみられたが、女子ではそれは明瞭ではなかった。食品別には鯨肉に、男子の場合1学年と2学年の間に、女

第2表 食品群別平均嗜好度

男			子			女			子		
			平均嗜好度						平均嗜好度		
食品群			最高値	最低値	平均	食品群			最高値	最低値	平均
			甲殻類	菓子類	嗜好品				4.44	4.38	4.41
甲殻類	菓子類	嗜好品	4.51	4.09	4.32	菓子類	嗜好品	果物	4.32	4.28	4.30
甲殻類	菓子類	嗜好品	4.52	3.88	4.23	菓子類	嗜好品	果物	4.78	3.35	4.25
甲殻類	菓子類	嗜好品	4.64	3.49	4.19	菓子類	嗜好品	果物	4.48	3.73	4.22
卵			—	—	4.18	卵			—	—	4.18
瓜類			4.46	3.49	4.11	嗜好品	品類		4.53	3.83	4.16
瓜類			4.60	3.39	4.01	嗜好品	品類		4.20	3.86	4.03
瓜類			4.61	3.09	3.98	嗜好品	品類		4.84	3.08	3.96
瓜類			4.18	3.71	3.95	嗜好品	品類		4.13	3.71	3.87
瓜類			4.23	3.23	3.80	嗜好品	品類		4.32	3.42	3.79
海草類			4.28	3.39	3.78	穀類	か・たこ類		4.36	3.15	3.78
海草類			3.95	3.64	3.72	穀類	か・たこ類		3.98	3.01	3.66
海草類			3.94	3.21	3.67	穀類	か・たこ類		4.37	3.14	3.64
海草類			4.01	3.35	3.62	穀類	か・たこ類		4.47	2.93	3.62
海草類			4.22	3.10	3.58	穀類	か・たこ類		4.48	2.92	3.53
種実類			4.34	2.96	3.50	貝類			3.72	3.09	3.42
種実類			4.56	2.81	3.50	貝類			4.06	2.38	3.31
種実類			3.51	3.03	3.31	貝類			3.49	2.93	3.26
種実類			3.96	2.70	3.24	貝類			4.08	2.53	3.21
種実類			3.23	2.75	3.05	貝類			3.36	2.87	3.17

(平均嗜好度の最高値、最低値とは、16クラスの平均値のうち、最高、最低を示した値、平均は、16クラスの平均値の平均である。)

子の場合1学年と3学年の間に明らかに有意の差がみとめられたが、他のものにはそれほどはっきりした差はみとめられなかった。

乳類では、アイスクリームが最も好まれ、全食品中男子で1位、女子で2位を占め、ヨーグルト以下の食品との間に有意の差がみられた。

練乳および粉乳は、男女いずれにもあまり好まれず、他の食品との間に、又、練乳と粉乳と

の間にも有意差がみられた。このように、粉乳に人気がないのは学校給食による影響が多分にあるものと推察される。なお、乳類における男女差はほとんどみられなかったが、牛乳においてはやや男子の方に好まれる傾向があった。

卵は男女全く同じで、かなり高い嗜好度を示していた。

第3表 肉類, 卵, 乳類の嗜好傾向

食品名	男				女			
	1	2	3	平均	1	2	3	平均
牛 肉	4.70±0.12	4.60±0.04	4.51±0.23	4.60±0.10	4.39±0.21	4.51±0.14	4.51±0.21	4.47±0.07
豚 肉	4.32±0.14	4.24±0.13	4.06±0.35	4.21±0.13	3.74±0.14	3.77±0.16	3.77±0.18	3.76±0.02
鶏 肉	4.24±0.08	3.94±0.16	3.94±0.26	4.04±0.17	3.83±0.08	3.99±0.20	3.47±0.30	3.76±0.33
鯨 肉	4.07±0.39	3.42±0.04	3.67±0.33	3.72±0.33	3.34±0.29	3.27±0.29	2.84±0.18	3.15±0.27
レバーもつ	3.69±0.28	3.28±0.27	3.20±0.23	3.39±0.26	3.00±0.20	3.08±0.18	2.72±0.22	2.93±0.19
平 均	4.21±0.09	3.93±0.06	3.90±0.21	4.01±0.17	3.67±0.06	3.69±0.19	3.51±0.14	3.62±0.10
アイス クリーム	4.65±0.24	4.59±0.21	4.59±0.20	4.61±0.04	4.81±0.15	4.81±0.09	4.90±0.07	4.84±0.05
ヨーグルト	4.45±0.32	4.26±0.24	4.20±0.37	4.30±0.13	4.53±0.30	4.31±0.03	4.27±0.24	4.37±0.14
バ タ ー	4.30±0.30	4.18±0.11	3.96±0.26	4.15±0.17	4.29±0.14	4.13±0.19	4.13±0.24	4.18±0.09
牛 乳	4.35±0.16	4.08±0.31	3.89±0.24	4.11±0.23	4.08±0.37	3.81±0.16	3.59±0.34	3.81±0.25
チ ー ズ	4.09±0.27	4.02±0.16	3.84±0.20	3.98±0.13	4.11±0.34	4.02±0.39	3.47±0.31	3.87±0.35
練 乳	3.93±0.13	3.54±0.24	3.40±0.25	3.62±0.28	3.57±0.45	3.61±0.09	3.56±0.56	3.58±0.03
粉 乳	3.24±0.38	3.21±0.28	2.82±0.05	3.09±0.23	3.37±0.15	3.02±0.38	2.86±0.21	3.08±0.26
平 均	4.14±0.15	3.98±0.17	3.82±0.16	3.98±0.16	4.11±0.21	3.96±0.10	3.82±0.20	3.96±0.15
卵	4.33±0.10	4.21±0.14	3.99±0.19	4.18±0.17	4.30±0.24	4.16±0.30	4.09±0.24	4.18±0.11

栄養食品の代表といわれる卵と牛乳を比較してみると、男子では両者ほとんど同じ嗜好度を示しているが、女子では卵の方がより好まれているようであった。

学年別の差異は、牛乳、練乳、粉乳などにおいて学年があがるにつれて嗜好度が低下する傾向がみられた。

第4表は魚類の嗜好度を示すものである。調査した魚類は28種にのぼるが、日常の食生活になじみの深いもののみを表に取り上げた。

うなぎが男女とも一番好まれており、他の魚に対して有意の差がみとめられた。

一般に、川魚は海魚よりも嗜好度が低いといえる。これは、こい、ふな、はぜなど日常あまり食する機会が少なく、なじみが薄いこと、川魚特有のくせを持っていることなどがその理由であろうと思われる。

魚類全体としては、女子より男子の方に好まれており、特にうなぎ、ふぐ、あゆ、こいなどでは明らかな有意の差がみられた。また、男子では全般に学年があがるにつれて嗜好度が低くなる傾向がみられたが、女子では1学年と2学年にはあまり差がなく、3学年になって低下する傾向があった。これは肉類における場合とほぼ同じ傾向であった。

貝類、いか、たこ類および鳥獣魚肉加工品の嗜好傾向は第5表に示されるとおりである。

貝類では、さざえが最も好まれ、他の食品との間に有意差がみられた。魚類と同様、貝類に

第4表 魚類の嗜好傾向

食品名	男 子				女 子			
	1	2	3	平均	1	2	3	平均
うなぎ	4.67±0.06	4.60±0.11	4.40±0.15	4.56±0.14	4.02±0.27	3.99±0.27	4.18±0.40	4.06±0.10
さけ	4.22±0.16	3.92±0.16	3.71±0.03	3.95±0.26	3.91±0.38	3.76±0.17	3.79±0.21	3.82±0.08
たい	4.09±0.13	3.71±0.11	3.66±0.15	3.82±0.24	4.04±0.30	3.74±0.14	3.74±0.46	3.84±0.17
まぐろ	4.04±0.30	3.82±0.13	3.73±0.13	3.86±0.16	3.52±0.27	3.82±0.21	3.43±0.08	3.59±0.20
しらうお	3.87±0.17	3.76±0.11	3.77±0.16	3.80±0.06	3.60±0.22	3.88±0.17	3.41±0.30	3.63±0.24
かれい	3.89±0.26	3.54±0.24	3.44±0.24	3.62±0.24	3.73±0.13	3.75±0.09	3.63±0.34	3.70±0.07
さんま	3.85±0.36	3.74±0.09	3.67±0.10	3.75±0.09	3.48±0.30	3.86±0.13	3.31±0.25	3.55±0.28
ふぐ	3.90±0.29	3.67±0.20	3.76±0.25	3.78±0.11	3.30±0.42	3.59±0.30	3.56±0.23	3.48±0.16
さば	3.86±0.19	3.65±0.27	3.45±0.21	3.65±0.21	3.54±0.30	3.67±0.12	3.29±0.23	3.50±0.19
ぶり	3.66±0.18	3.51±0.19	3.64±0.21	3.60±0.08	3.36±0.30	3.58±0.12	3.44±0.21	3.46±0.11
あじ	3.73±0.22	3.52±0.15	3.42±0.11	3.56±0.16	3.40±0.15	3.78±0.17	3.27±0.28	3.48±0.26
あゆ	3.75±0.27	3.54±0.09	3.54±0.31	3.61±0.12	3.02±0.21	3.30±0.19	3.20±0.39	3.17±0.14
いわし	3.48±0.09	3.32±0.26	3.18±0.18	3.33±0.15	3.17±0.19	3.35±0.22	3.16±0.17	3.23±0.11
とびうお	3.33±0.22	3.19±0.17	3.06±0.12	3.19±0.14	2.98±0.32	3.29±0.18	3.02±0.19	3.10±0.17
はぜ	2.89±0.27	3.10±0.24	2.74±0.18	2.91±0.18	2.78±0.46	2.87±0.20	2.77±0.31	2.81±0.05
平均	3.67±0.18	3.46±0.09	3.38±0.09	3.50±0.15	3.31±0.15	3.44±0.09	3.19±0.15	3.31±0.13

おいても総体的に男子の方が嗜好度が高く、特にさざえ、あわび、かきでは明らかな男女差がみられた。なお、学年別による差異はほとんどみとめられなかった。

いか、たこその他においては、えび、かになどの甲殻類が最も好まれていたが、えびに男女差がみられたのを除き、他の食品には男女差はみられなかった。また、いずれの食品にも学年による差はなかった。

調査した動物性加工食品7種のなかでは、ハムが好まれており、男女とも魚製品より肉製品の方を好んでいると言える。一般的にみて、動物性加工品は、女子に比べて男子の方に好まれている傾向がみとめられる。特にベーコンにおいては、この傾向が明瞭にみられた。学年差は男女ともはっきりとはみられなかった。

穀類およびいも類の嗜好傾向は第6表に示されるとおりである。

穀類では男女ともマカロニ類(スパゲッティを含む)、パン、めん類、白米飯、麦飯の順に好んでおり、マカロニは他の穀類との間に有意の差がみられ、また、麦飯は一番好まれず白米飯との間に有意の差がみられた。穀類全体としては、男女差はないが学年があがるにつれて嗜好度が低下する傾向がみられた。この傾向は、男子ではマカロニ、パン、めん類に、女子ではパンに明瞭にみられた。

第5表 貝類・いか・たこ類・加工品の嗜好傾向

食品名	男 子				女 子			
	1	2	3	平均	1	2	3	平均
さぎえ	4.02±0.21	4.00±0.16	4.02±0.33	4.01±0.02	3.68±0.28	3.90±0.33	3.58±0.47	3.72±0.16
あわび	3.74±0.13	3.72±0.19	3.79±0.30	3.75±0.04	3.37±0.33	3.42±0.25	3.56±0.38	3.45±0.10
はまぐり	3.70±0.20	3.58±0.19	3.48±0.10	3.59±0.11	3.49±0.25	3.41±0.11	3.33±0.27	3.41±0.08
しじみ	3.65±0.17	3.60±0.21	3.41±0.17	3.55±0.13	3.62±0.24	3.24±0.27	3.33±0.13	3.40±0.20
あさり	3.59±0.23	3.36±0.23	3.39±0.06	3.45±0.12	3.57±0.28	3.28±0.13	3.36±0.26	3.40±0.15
かき	3.31±0.11	3.29±0.12	3.44±0.29	3.35±0.08	3.07±0.32	3.09±0.46	3.11±0.63	3.09±0.02
平均	3.67±0.13	3.59±0.10	3.59±0.13	3.62±0.04	3.49±0.24	3.39±0.11	3.38±0.33	3.42±0.06
えび	4.53±0.10	4.42±0.12	4.36±0.20	4.44±0.08	4.35±0.32	4.32±0.42	4.29±0.15	4.32±0.03
かに	4.47±0.10	4.38±0.10	4.29±0.21	4.38±0.09	4.37±0.22	4.17±0.34	4.30±0.07	4.28±0.10
たこ	4.13±0.23	3.91±0.21	3.79±0.14	3.94±0.17	4.19±0.29	4.11±0.16	3.65±0.28	3.98±0.29
いか	4.00±0.24	3.84±0.21	3.71±0.13	3.85±0.15	4.18±0.22	3.99±0.20	3.77±0.22	3.98±0.21
ハム	4.53±0.15	4.35±0.08	4.28±0.28	4.39±0.13	4.32±0.20	4.34±0.20	3.91±0.24	4.19±0.20
ソーセージ	4.36±0.12	4.02±0.22	4.01±0.18	4.13±0.20	4.00±0.26	3.98±0.30	3.45±0.32	3.81±0.31
ベーコン	4.09±0.40	4.14±0.39	4.05±0.29	4.09±0.05	3.84±0.31	3.91±0.24	3.52±0.20	3.76±0.21
かずのこ	3.97±0.25	3.65±0.17	3.37±0.23	3.66±0.30	3.59±0.44	3.61±0.28	3.32±0.39	3.51±0.16
かまぼこ	3.71±0.34	3.45±0.14	3.46±0.19	3.54±0.15	3.70±0.16	3.48±0.10	3.39±0.36	3.52±0.16
ちくは	3.79±0.28	3.55±0.13	3.43±0.20	3.59±0.18	3.63±0.15	3.33±0.04	3.19±0.30	3.38±0.23
はんぺん	3.65±0.33	3.31±0.08	3.30±0.22	3.42±0.20	3.41±0.19	3.39±0.18	3.20±0.23	3.33±0.12

いも類では、さつまいもが最も好まれていた。男子では、他の三食品との間に有意の差はみとめられなかったが、女子ではこれらの間に有意差がみとめられた。しかし、いずれの食品においても、明瞭な男女差、学年差はみられなかった。

種実類および豆類の嗜好傾向は第7表に示されるとおりである。

種実類ではくりが、豆類では落花生がもっとも好まれており、男女とも他の食品との間に有意の差がみとめられた。これら2食品は、日常一般には「おやつ」として食されることが多い

第6表 穀類・いも類の嗜好傾向

学年 食品名	男 子				女 子			
	1	2	3	平均	1	2	3	平均
マカロニ	4.41±0.10	4.18±0.36	4.09±0.11	4.23±0.16	4.44±0.07	4.37±0.10	4.28±0.22	4.36±0.08
パン	4.20±0.12	3.98±0.14	3.88±0.31	4.02±0.16	4.17±0.13	3.86±0.14	3.80±0.07	3.94±0.20
めん類	4.07±0.25	3.74±0.25	3.62±0.14	3.81±0.23	3.89±0.24	3.76±0.16	3.65±0.27	3.77±0.12
白米飯	3.94±0.22	3.65±0.13	3.54±0.40	3.71±0.21	3.76±0.26	3.68±0.17	3.65±0.27	3.70±0.05
麦飯	3.40±0.39	3.27±0.14	3.02±0.24	3.23±0.19	3.27±0.24	3.15±0.44	3.03±0.12	3.15±0.12
さつまいも	4.17±0.31	3.89±0.11	3.78±0.32	3.95±0.20	4.32±0.30	4.09±0.23	3.97±0.11	4.13±0.18
さといも	3.80±0.20	3.55±0.19	3.57±0.26	3.64±0.14	3.85±0.27	3.86±0.28	3.81±0.17	3.84±0.03
じゃがいも	3.86±0.25	3.57±0.08	3.54±0.25	3.66±0.18	3.82±0.28	3.83±0.21	3.77±0.22	3.81±0.03
やまいも	3.76±0.33	3.50±0.25	3.66±0.23	3.64±0.13	3.69±0.26	3.73±0.16	3.72±0.22	3.71±0.03
平均	3.90±0.26	3.63±0.08	3.64±0.25	3.72±0.15	3.92±0.25	3.88±0.17	3.82±0.12	3.87±0.05

第7表 種実類、豆類の嗜好傾向

学年 食品名	男 子				女 子			
	1	2	3	平均	1	2	3	平均
くり	4.56±0.28	4.27±0.30	4.20±0.22	4.34±0.19	4.68±0.15	4.47±0.10	4.29±0.22	4.48±0.20
ごま	3.40±0.16	3.11±0.24	3.06±0.14	3.19±0.18	3.41±0.08	3.09±0.19	3.16±0.25	3.22±0.17
ぎんなん	2.92±0.37	2.88±0.39	3.09±0.18	2.96±0.11	3.08±0.32	3.09±0.40	2.58±0.10	2.92±0.29
平均	3.63±0.26	3.42±0.29	3.45±0.05	3.50±0.11	3.71±0.11	3.55±0.09	3.34±0.11	3.53±0.19
落花生	4.22±0.20	4.17±0.14	4.06±0.28	4.15±0.08	4.37±0.20	4.05±0.12	3.99±0.24	4.13±0.20
あずき	3.95±0.14	3.69±0.19	3.66±0.13	3.77±0.16	3.65±0.21	3.66±0.15	3.66±0.24	3.66±0.01
さやまめ	3.45±0.32	3.48±0.23	3.42±0.14	3.45±0.03	3.67±0.24	3.50±0.14	3.51±0.18	3.56±0.10
えんどう	3.42±0.32	3.22±0.30	3.29±0.19	3.31±0.10	3.70±0.28	3.43±0.22	3.50±0.10	3.54±0.14
だいず	3.39±0.32	3.11±0.18	3.10±0.10	3.20±0.16	3.45±0.28	3.28±0.13	3.14±0.24	3.29±0.16
平均	3.69±0.23	3.54±0.18	3.51±0.12	3.58±0.10	3.77±0.21	3.59±0.09	3.56±0.10	3.64±0.11

ことから、他の食品に比べてより好まれるのであろう。いずれにも男女差、学年差はみられなかった。

葉菜および根菜については、第8表に示されるとおりである。

葉菜および根菜は、他の食品群に比べて嗜好度が低いことは先に述べたが、全学年通じてこの傾向がみとめられた。

葉菜15食品中、主なものを第8表に取り上げた。キャベツ、ほうれん草が最も好まれ、つい

で、たけのこからねぎの青い部分の群, そして残りの葉菜という風に大きく3つの群に分かれるようである。なお、それぞれの群間に有意差がみられた。女子ではキャベツとほうれん草の間にも有意差がみられた。

ねぎの白い部分には男女差がみとめられた。

根菜では、やはり人参が好まれず、男子でれんこんとの間に、女子では大根との間に有意差がみとめられた。大根には男女差がみられたが学年差はいずれの食品にもみられなかった。

果菜および香辛料の嗜好傾向は第9表に示されるとおりである。

果菜を瓜類とその他の物に分けられる。瓜類は、第9表に示されているようにその他の果菜

第8表 葉菜, 根菜の嗜好傾向

学年 食品名	男 子				女 子			
	1	2	3	平均	1	2	3	平均
キャベツ	4.19±0.20	3.95±0.08	3.75±0.26	3.96±0.22	4.12±0.27	4.08±0.03	4.04±0.21	4.08±0.04
ほうれん草	3.91±0.23	3.80±0.19	3.70±0.27	3.80±0.11	3.97±0.18	3.98±0.14	3.89±0.44	3.95±0.05
たけのこ	3.76±0.17	3.53±0.12	3.60±0.17	3.63±0.12	3.65±0.21	3.70±0.18	3.54±0.25	3.63±0.08
たまねぎ	3.61±0.20	3.57±0.18	3.44±0.26	3.54±0.09	3.78±0.23	3.56±0.19	3.62±0.21	3.65±0.12
ねぎ(青)	3.54±0.32	3.47±0.07	3.40±0.30	3.47±0.07	3.64±0.20	3.24±0.11	3.38±0.06	3.42±0.20
春 菊	3.28±0.44	2.93±0.27	3.03±0.24	3.08±0.05	3.00±0.22	3.14±0.17	3.06±0.30	3.07±0.07
パセリ	3.21±0.36	3.04±0.21	3.12±0.18	3.12±0.07	3.18±0.16	3.02±0.37	2.72±0.07	2.97±0.23
ねぎ(白)	3.22±0.32	3.05±0.23	3.20±0.19	3.16±0.13	3.11±0.04	2.76±0.20	2.90±0.57	2.92±0.18
に ら	3.12±0.58	2.81±0.26	2.87±0.32	2.93±0.17	3.02±0.24	2.49±0.37	2.37±0.33	2.63±0.35
アスパラ ガス	2.83±0.53	2.68±0.34	2.67±0.21	2.72±0.08	2.74±0.20	2.74±0.18	2.57±0.41	2.68±0.10
にんにく	3.03±0.38	2.76±0.20	2.71±0.20	2.83±0.17	2.67±0.43	2.64±0.28	2.29±0.15	2.53±0.21
平均	3.36±0.29	3.17±0.07	3.18±0.13	3.24±0.11	3.34±0.08	3.23±0.04	3.07±0.13	3.21±0.14
ご ぼ う	3.45±0.23	3.20±0.04	3.03±0.24	3.23±0.21	3.46±0.12	3.37±0.08	3.21±0.26	3.35±0.13
大 根	3.18±0.27	3.26±0.12	3.15±0.37	3.20±0.05	3.36±0.34	3.41±0.10	3.30±0.25	3.36±0.05
れんこん	3.23±0.36	2.87±0.20	3.04±0.27	3.05±0.18	3.26±0.30	3.25±0.35	2.86±0.17	3.12±0.23
人 蔘	2.82±0.24	2.79±0.15	2.63±0.12	2.75±0.10	3.11±0.19	2.60±0.08	2.84±0.29	2.87±0.23
平均	3.17±0.26	3.03±0.06	2.96±0.17	3.05±0.11	3.30±0.12	3.17±0.10	3.05±0.17	3.17±0.13

より好まれているといえよう。男女とも、すいか、メロンがきゅうりとの間に、更にきゅうりはかぼちゃとの間に有意差がみとめられた。瓜類はどちらかという、女子に好まれるようであるが男女差のみられたのはきゅうりのみであった。

瓜類以外の果菜では、トマトが一番好まれており、男子ではなすとの間に、女子ではピーマンとの間に有意の差がみられた。果菜全体としては学年差はみとめられなかった。

第9表 果菜その他, 香辛料の嗜好傾向

学年 食品名	男 子				女 子			
	1	2	3	平均	1	2	3	平均
すいか	4.58±0.14	4.36±0.18	4.43±0.29	4.46±0.11	4.60±0.21	4.45±0.15	4.40±0.05	4.48±0.11
メロン	4.59±0.10	4.24±0.09	4.38±0.29	4.40±0.18	4.46±0.06	4.54±0.24	4.41±0.09	4.47±0.07
きゅうり	4.26±0.20	4.07±0.11	4.10±0.25	4.14±0.10	4.33±0.23	4.35±0.19	4.32±0.23	4.33±0.02
かぼちゃ	3.55±0.19	3.41±0.11	3.50±0.21	3.49±0.07	3.87±0.25	3.80±0.09	3.53±0.36	3.73±0.18
平均	4.25±0.15	3.99±0.12	4.09±0.23	4.11±0.13	4.26±0.09	4.29±0.16	4.11±0.09	4.22±0.10
トマト	4.35±0.31	3.90±0.24	3.85±0.14	4.03±0.28	4.24±0.24	3.90±0.21	4.07±0.40	4.07±0.17
なす	3.62±0.27	3.48±0.12	3.51±0.29	3.54±0.07	3.66±0.23	4.02±0.12	3.42±0.08	3.70±0.30
ピーマン	3.64±0.52	3.25±0.09	3.50±0.37	3.46±0.20	3.58±0.18	3.70±0.25	3.47±0.48	3.58±0.12
わさび	3.70±0.22	3.42±0.18	3.42±0.27	3.51±0.16	3.26±0.27	3.62±0.09	3.12±0.52	3.33±0.26
しょうが	3.40±0.13	3.15±0.22	3.25±0.24	3.27±0.13	3.41±0.33	3.65±0.19	3.42±0.32	3.49±0.14
こしょう	3.74±0.20	3.26±0.19	3.30±0.22	3.43±0.27	3.30±0.23	3.52±0.02	3.07±0.40	3.30±0.23
とうがらし	3.28±0.22	2.96±0.24	2.85±0.19	3.03±0.22	2.88±0.36	3.08±0.17	2.82±0.29	2.93±0.14
平均	3.53±0.16	3.20±0.17	3.21±0.22	3.31±0.19	3.21±0.29	3.47±0.09	3.11±0.35	3.26±0.19

第10表 果物の嗜好傾向

学年 食品名	男 子				女 子			
	1	2	3	平均	1	2	3	平均
いちご	4.77±0.15	4.65±0.15	4.50±0.27	4.64±0.14	4.84±0.11	4.79±0.08	4.72±0.10	4.78±0.06
みかん	4.47±0.29	4.55±0.12	4.36±0.19	4.46±0.10	4.89±0.09	4.72±0.22	4.59±0.05	4.73±0.15
なし	4.68±0.19	4.54±0.20	4.36±0.13	4.53±0.16	4.68±0.09	4.59±0.26	4.49±0.11	4.59±0.09
もも	4.74±0.17	4.49±0.24	4.26±0.31	4.50±0.24	4.65±0.11	4.60±0.24	4.50±0.16	4.58±0.08
びわ	4.65±0.06	4.45±0.14	4.25±0.34	4.45±0.20	4.62±0.21	4.56±0.18	4.40±0.16	4.53±0.11
バナナ	4.69±0.24	4.45±0.20	4.37±0.16	4.50±0.17	4.64±0.26	4.53±0.19	4.22±0.27	4.46±0.22
ぶどう	4.44±0.25	4.40±0.20	4.22±0.21	4.35±0.12	4.47±0.22	4.36±0.38	4.39±0.27	4.41±0.05
りんご	4.46±0.27	4.31±0.09	4.17±0.12	4.31±0.15	4.60±0.23	4.47±0.24	4.29±0.15	4.45±0.16
柿	4.37±0.21	4.22±0.31	4.21±0.09	4.27±0.09	4.33±0.13	4.48±0.28	3.98±0.33	4.26±0.26
はっさく	4.23±0.32	4.10±0.12	3.93±0.22	4.09±0.15	4.45±0.20	4.32±0.20	4.39±0.11	4.39±0.06
ざくろ	3.81±0.54	3.58±0.32	3.54±0.28	3.64±0.15	3.74±0.31	3.55±0.13	3.22±0.43	3.50±0.26
平均	4.28±0.26	4.21±0.16	4.07±0.19	4.19±0.10	4.37±0.19	4.30±0.19	4.09±0.10	4.25±0.15

香辛料では、男子はわさび、女子はしょうがを好んでおり、男女ともとうがらしが好まれていなかった。いずれの食品にも男女差、学年差はみられなかった。

果物については、第10表に示されるとおりである。

第10表には、調査した果物17種のうち日常なじみの深いものを取りあげた。これらのうち、いちごがもっとも好まれ、これはアイスクリームと並んで調査全食品の1, 2位を占めていた。果物は全般に好まれているが、日常食する機会の少ないぎくろや、この表には取り上げていない、なつめ、あんず、ぐみなどは3点代の低い嗜好度を示していた。

男女差のみられた果物は、みかん、はっさくで、男子より女子の嗜好度が高く、柑橘類は女子に好まれるといえよう。

学年があがるにつれて嗜好度が低下する傾向がみられたが、いずれの食品においても有意差はみとめられなかった。

きのこ類、海藻類、嗜好品および菓子類の嗜好傾向は第11表に示される。

きのこ類では、やはりまつたけが好まれており、男女ともしいたけとの間に有意差がみとめられた。これは、我々がまつたけを食する季節が限られその期間も短かく高価なことが大きく

第11表 きのこ類、海藻類、嗜好品、菓子類の嗜好傾向

学年 食品名	男 子				女 子			
	1	2	3	平均	1	2	3	平均
まつたけ	4.22±0.40	4.06±0.07	4.27±0.28	4.18±0.11	4.08±0.35	4.28±0.41	4.23±0.37	4.20±0.10
しいたけ	3.73±0.39	3.68±0.12	3.73±0.29	3.71±0.04	3.89±0.33	4.03±0.32	3.65±0.09	3.86±0.19
平均	3.97±0.33	3.87±0.06	4.00±0.22	3.95±0.07	3.99±0.34	4.16±0.36	3.94±0.20	4.03±0.12
浅草のり	4.48±0.25	4.24±0.17	4.11±0.29	4.28±0.19	4.34±0.12	4.31±0.07	4.32±0.30	4.32±0.03
わかめ	4.07±0.14	3.84±0.10	3.83±0.20	3.91±0.14	4.04±0.12	4.07±0.20	3.76±0.33	3.96±0.17
こんぶ	3.78±0.12	3.58±0.26	3.62±0.22	3.66±0.11	3.74±0.22	3.68±0.15	3.47±0.33	3.63±0.14
もずく	3.56±0.28	3.46±0.25	3.16±0.02	3.39±0.21	3.52±0.12	3.86±0.28	3.38±0.21	3.59±0.25
ひじき	3.45±0.18	3.57±0.46	3.25±0.18	3.42±0.16	3.42±0.26	3.57±0.14	3.28±0.57	3.42±0.15
平均	3.89±0.15	3.80±0.17	3.64±0.17	3.78±0.12	3.79±0.11	3.91±0.16	3.66±0.25	3.79±0.12
紅茶	4.66±0.17	4.45±0.18	4.30±0.25	4.47±0.18	4.61±0.15	4.45±0.16	4.53±0.23	4.53±0.08
コーラー	4.63±0.22	4.55±0.11	4.35±0.29	4.51±0.14	4.29±0.21	4.36±0.32	3.91±0.39	4.19±0.24
コーヒー	4.69±0.05	4.54±0.13	4.33±0.30	4.52±0.18	4.21±0.31	4.19±0.35	4.08±0.51	4.16±0.07
麦茶	4.39±0.10	4.15±0.10	3.97±0.37	4.17±0.21	4.43±0.07	4.14±0.08	4.38±0.16	4.32±0.15
ココア	4.58±0.18	4.31±0.18	4.08±0.26	4.32±0.13	4.29±0.33	4.23±0.25	3.90±0.45	4.14±0.21
玄米茶	4.10±0.25	4.02±0.07	3.67±0.35	3.93±0.23	4.13±0.07	4.19±0.28	4.06±0.08	4.13±0.06
番茶	4.12±0.07	3.94±0.03	3.79±0.33	3.95±0.17	3.92±0.26	3.90±0.21	3.83±0.10	3.88±0.05
緑茶	4.02±0.18	3.88±0.17	3.74±0.24	3.88±0.14	3.70±0.27	3.87±0.18	3.92±0.11	3.83±0.12
菓子類	4.47±0.22	4.33±0.12	4.16±0.18	4.32±0.18	4.51±0.31	4.44±0.22	4.12±0.26	4.36±0.21

影響しているように思われる。

海藻類では、浅草のりと青のり、わかめと岩のり、こんぶ、あらめ、もずくおよびひじきという3つの群に分けられ、それぞれの群間に有意差がみとめられた。

きこの類、海藻類のいずれの食品にも男女差、学年差はみられなかった。

嗜好品では、コーヒーが男子に、紅茶が女子にもっとも好まれ、緑茶が一番嫌らわれていた。男子はコーヒー、コーラーおよび紅茶の群とその他の食品とはっきり分けられ、この群間に有意差がみとめられた。女子では紅茶がぬきんでており、コーラーから玄米茶の群、番茶と緑茶の群と3つに分けられ、ここでもそれぞれの群間に有意差がみられた。

コーヒーに男女差があり、コーヒー、ココア、麦茶では男子に学年があがるにつれて嗜好度が低下する傾向があった。

菓子類は、男女ともよく似た嗜好度を示した。

調味料およびその他の加工品については第12表に示されるとおりである。

第12表 調味料、その他加工品の嗜好傾向

食品名	男 子				女 子			
	1	2	3	平均	1	2	3	平均
マヨネーズ	4.26±0.19	3.93±0.17	3.77±0.31	3.99±0.25	4.11±0.12	4.23±0.21	4.02±0.17	4.12±0.11
ケチャップ	4.17±0.35	3.94±0.15	3.68±0.29	3.93±0.26	3.96±0.12	4.05±0.17	3.79±0.19	3.92±0.13
ソース	4.18±0.33	3.91±0.10	3.70±0.48	3.93±0.24	3.73±0.22	3.87±0.16	3.81±0.21	3.80±0.07
しょう油	3.87±0.28	3.64±0.04	3.52±0.23	3.68±0.18	3.66±0.14	3.72±0.25	3.80±0.24	3.72±0.08
味噌	3.83±0.16	3.79±0.14	3.47±0.21	3.70±0.20	3.68±0.15	3.55±0.06	3.51±0.24	3.58±0.09
酢	3.62±0.56	3.25±0.30	3.16±0.24	3.34±0.12	3.67±0.18	3.94±0.09	3.78±0.18	3.80±0.14
つけもの	3.78±0.17	3.66±0.21	3.63±0.31	3.69±0.08	4.09±0.28	3.98±0.27	3.60±0.40	3.89±0.26
あぶらげ	3.91±0.32	3.77±0.17	3.64±0.27	3.77±0.14	3.66±0.19	3.79±0.24	3.57±0.17	3.67±0.11
とうふ	3.87±0.22	3.82±0.13	3.67±0.28	3.79±0.10	3.73±0.25	3.64±0.16	3.41±0.35	3.59±0.17
梅ぼし	3.82±0.37	3.39±0.17	3.43±0.18	3.55±0.24	3.78±0.25	3.91±0.08	3.47±0.23	3.72±0.23
こんにゃく	3.53±0.39	3.22±0.22	3.13±0.16	3.29±0.21	3.26±0.38	3.76±0.18	3.17±0.28	3.40±0.32
なっとう	3.58±0.11	3.28±0.10	3.09±0.19	3.32±0.25	3.29±0.48	3.29±0.24	2.61±0.59	3.06±0.39
こや 豆腐	3.51±0.31	3.28±0.20	3.32±0.40	3.37±0.12	3.27±0.19	3.26±0.23	3.15±0.21	3.23±0.06
ふ	3.58±0.29	3.23±0.16	3.05±0.21	3.29±0.27	3.31±0.28	3.14±0.17	2.84±0.21	3.10±0.24

調味料では、しょう油や味噌に比べてマヨネーズやケチャップが好まれていることが注目される。男子は酢、女子は味噌を敬遠しており、他の調味料との間に有意差がみとめられた。

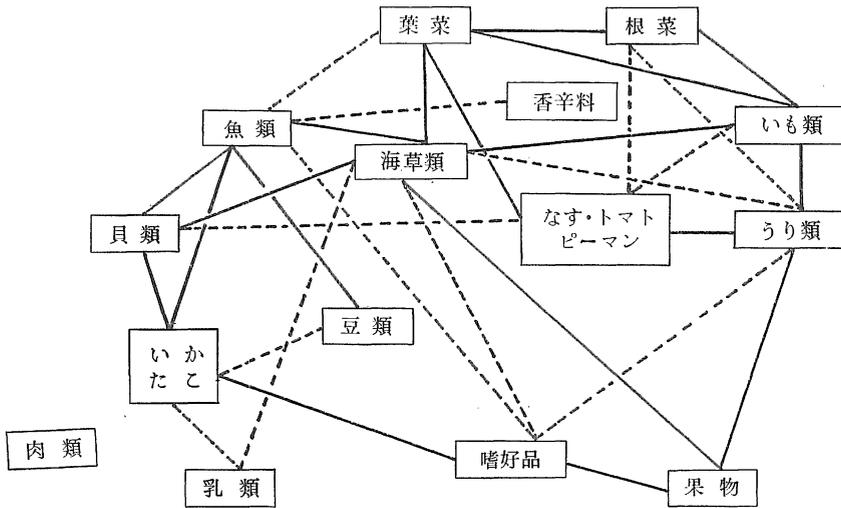
男女間には酢に有意差があり、これは果物の中で柑橘類が女子に好まれていることと関係があるのではないと思われる。学年差はみられなかった。

その他の加工品の中で注目されるのは、男子はやはり植物性蛋白質食品のとうふやあぶらげを好んでいること、女子はつけものや梅干しの嗜好度が男子より高いことであろう。男女差、学年差はいずれもみられなかった。

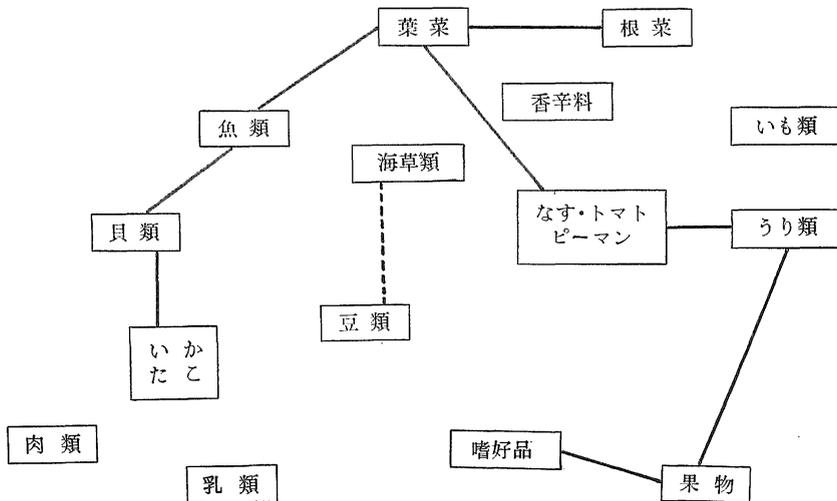
以上、各食品の嗜好傾向をみたが、次に、各食品群間の相互関係はどうかみていくことにする。

食品群間の嗜好の相関の有無については、クラス毎に個人の各食品群別平均嗜好度を用いてスピアマン係数により検定を行ない、有意差のみられたクラスの数をもって判断を行なった。つまり、16クラス中、半数以上のクラスが5%の有意でもって差がみとめられる場合を相関があるとみなした。

このようにしてもとめられたものを図式したものが、第3図および第4図である。



第3図 男子における食品嗜好度の相互関係



第4図 女子における食品嗜好度の相互関係

非常に高い相関がみられた食品間を実線で示した。

第3図および第4図から明らかなように、食物の嗜好は、肉を好む者は他の動物性食品をも好むとは必ずしも言えないということで、それよりも魚類、貝類、いか・たこ類のグループ、葉菜、根菜、いも類、瓜類、その他の果菜、果物のグループというように、性質の似たもの間に高い相関がみられた。

この傾向は、男子の方により強くあらわれた。

肉類は、男女ともいずれの食品との間にも相関がみとめられなかった。更に女子では、香辛料、いも類、乳類も他の食品との間に相関がみられなかったこと、いずれの食品も他の食品との相関が低いことが注目される。

第13表は、平均嗜好度との間の相関をみたものである。

第13表 平均嗜好度との相関

性別	食品名	肉	乳	魚	い・	貝	葉	い	根	瓜	な	香	果	海	嗜	豆
		類	類	類	た	類	菜	も	菜	類	す	辛	物	草	好	類
男	子	12 [※]	15	16	12	13	16	14	13	13	12	13	13	16	15	13
女	子	6	13	15	11	12	13	8	12	9	11	10	9	10	9	10

※ 有意差のみられたクラスの数

男子は、いずれの食品とも高い相関がみられたのに対し、女子では、15の食品のうち10の食品群においてのみであった。

このように、男子では平均嗜好度の高い者は、どの食品にも高い嗜好度を示しているといえ、好みの差が少ないとみることができるが、女子では好みがそれぞれの食品で独立している傾向が強いように思われる。

2. 性格との関連性について

性格検査は、前述のとおり矢田部・ギルフォード性格検査法を用いた。

この検査から、対象者全員について12の性格特徴の粗点をそれぞれ算出した。

次に、食物嗜好と性格との関連をみるために、全対象の平均嗜好度ならびに各食品群の平均嗜好度を0.20~0.30の間隔で度数分布させ、上位および下位からそれぞれ60名前後を抽出した。

この抽出された2群について矢田部・ギルフォード性格検査による性格の平均プロフィールを描き、各群間において相異のみられるいくつかの性格特徴について χ^2 検定を行なった。

結果は第14表および第15表に示されるとおりである。

まず、対象となった中学生男女の性格の平均は、第14表および第15表からあきらかなように、男子は平均的なA型を、女子はやや積極性のある平均型のAD型を示した。

平均嗜好度ならびに各食品群での性格類型は、男子は上下2群ともA型がほとんどであり、卵上位群のみがAD型で女子の性格類型に近い型を示したと言えよう。

いか・たこ類、貝類、いも類および果物の上位群と香辛料の下位群はA'型であった。

第14表 男子における平均嗜好度ならびに各食品群のY・G得点

		D	C	I	N	O	C ₀	Ag	G	R	T	A	S	類 型
平	均	7.19	8.64	6.23	7.20	7.66	6.90	10.61	11.75	12.24	10.66	10.87	13.59	A
平均嗜好度	上位群	7.33	9.25	6.53	7.76	8.53	8.48	13.08	11.28	12.25	11.28	12.03	14.30	A
	下位群	6.84	8.73	7.73	7.58	7.88	7.00	9.73	10.03	11.96	11.21	8.83	11.79	A
肉 類	上位群	8.96	9.29	6.92	7.88	8.71	7.88	11.10	11.73	12.21	10.49	11.65	13.77	A
	下位群	8.65	8.35	8.03	7.97	8.77	6.85	9.82	10.61	12.23	10.79	7.94	11.88	A
乳 類	上位群	7.24	8.43	5.73	6.88	7.39	7.59	10.82	11.57	12.59	11.25	12.24	14.63	A
	下位群	8.17	9.50	6.83	7.85	6.48	7.52	10.56	11.27	12.38	10.63	9.85	12.63	A
卵	上位群	6.65	6.76	5.53	6.50	7.16	6.74	10.95	11.90	12.20	10.89	11.77	14.40	A D
	下位群	7.92	9.04	6.86	7.46	7.60	6.94	8.89	9.93	11.78	10.75	9.87	12.88	A
魚 類	上位群	7.22	7.90	5.90	7.29	7.84	7.64	11.36	12.35	12.25	10.42	12.39	14.16	A
	下位群	7.67	9.54	7.89	7.54	8.18	7.16	11.30	11.13	12.49	10.52	10.77	13.43	A
いか・たこ類	上位群	6.67	8.33	6.05	6.78	7.74	6.77	11.09	12.08	12.81	11.18	11.56	14.42	A'
	下位群	7.06	8.37	6.23	7.14	7.32	6.63	9.23	11.01	11.30	10.87	9.87	12.61	A
貝 類	上位群	7.05	7.67	6.06	7.17	7.97	7.48	11.32	11.62	12.17	10.75	11.40	14.14	A'
	下位群	8.74	9.87	7.57	8.12	8.24	7.46	11.35	10.87	12.57	10.24	10.12	13.92	A
葉 菜	上位群	8.11	8.89	6.02	7.67	8.23	7.81	11.61	11.11	11.91	10.39	11.82	14.35	A
	下位群	8.00	9.40	7.04	7.28	8.30	6.85	10.77	11.21	13.09	10.89	9.64	12.66	A
根 菜	上位群	7.60	8.39	5.77	7.32	7.73	7.56	10.79	11.31	10.66	9.90	11.18	13.94	A
	下位群	7.17	9.12	6.78	7.63	8.22	6.88	10.59	11.92	13.02	11.71	10.05	12.85	A
い も 類	上位群	7.76	8.53	5.70	6.44	8.57	7.76	11.30	11.23	11.79	10.94	12.30	13.66	A'
	下位群	7.16	8.61	5.65	6.71	8.26	6.61	10.23	11.48	12.61	12.10	9.74	13.48	A
瓜 類	上位群	7.64	9.24	6.07	7.28	8.09	7.70	11.27	11.72	12.18	10.76	11.15	13.97	A
	下位群	7.64	9.01	7.03	7.31	8.15	7.27	10.49	11.39	12.51	11.10	10.24	13.12	A
なすトマト・ ピーマン	上位群	7.42	8.93	6.42	7.65	8.00	7.72	11.68	10.95	12.03	11.18	11.60	14.17	A
	下位群	7.48	8.42	7.18	6.74	6.78	6.98	9.56	10.58	11.74	11.18	9.92	12.26	A
香 辛 料	上位群	8.01	8.28	6.19	7.77	7.84	7.42	10.63	10.73	12.16	10.82	11.74	13.85	A
	下位群	6.75	8.75	6.56	6.72	7.53	6.70	10.56	11.89	12.62	11.89	10.14	13.47	A'
果 物	上位群	7.07	8.56	5.29	6.90	7.87	7.24	11.62	12.85	12.50	10.79	12.63	15.12	A'
	下位群	8.29	9.91	7.94	8.40	8.77	7.24	9.60	10.54	11.74	11.24	8.93	11.91	A
海 草 類	上位群	7.71	8.45	6.16	7.22	8.23	7.47	10.74	10.85	11.90	10.50	11.31	13.27	A
	下位群	7.42	8.73	6.90	8.00	7.82	6.92	9.36	9.74	10.73	10.57	9.19	12.07	A

第15表 女子における平均嗜好度ならびに各食品群のY・G得点

		D	C	I	N	O	C ₀	Ag	G	R	T	A	S	類型
平均		6.89	8.34	6.31	6.50	6.87	5.50	9.74	10.99	10.84	11.52	10.95	13.78	AD
平均嗜好度	上位群	6.49	7.87	5.67	6.69	7.38	5.95	10.18	12.54	11.15	10.97	12.15	14.74	D'
	下位群	7.13	8.74	6.28	5.46	7.54	5.57	9.39	10.65	12.07	12.54	10.07	13.33	D'
肉類	上位群	6.20	7.85	6.63	6.61	7.41	6.39	9.85	11.24	11.27	11.66	10.61	13.83	AD
	下位群	7.37	8.72	6.91	6.81	6.21	4.93	9.19	10.79	10.95	12.14	10.60	13.86	AD
乳類	上位群	6.31	7.65	6.57	6.63	7.29	6.14	9.43	11.00	10.69	11.10	10.73	13.49	AD
	下位群	7.22	8.65	6.48	6.28	7.36	5.12	9.52	10.33	10.62	11.48	10.07	13.10	AD
卵	上位群	6.92	8.19	6.62	6.84	6.70	5.56	9.59	11.08	10.64	11.23	10.94	13.54	AD
	下位群	6.48	8.35	5.72	6.70	7.37	5.56	10.63	11.50	11.61	11.80	11.24	14.37	AD
魚類	上位群	6.29	8.06	5.76	6.25	6.90	5.51	9.98	11.96	10.84	11.37	11.73	14.02	AD
	下位群	6.45	8.28	5.77	6.02	6.60	5.68	9.70	10.43	12.09	12.21	10.83	14.00	AD
いか・たこ類	上位群	6.50	7.84	5.96	6.63	6.93	5.28	10.43	11.44	10.62	11.53	11.32	13.93	AD
	下位群	7.58	9.02	6.79	6.70	7.72	5.66	9.17	10.42	11.45	11.79	9.83	13.81	AD
貝類	上位群	7.04	7.42	6.38	6.46	7.42	6.15	10.12	12.02	10.88	10.46	10.02	13.88	AD
	下位群	6.63	7.97	6.39	5.80	6.63	5.39	9.36	9.98	11.73	12.91	9.88	13.55	D'
葉菜	上位群	6.97	8.27	5.85	6.11	7.56	5.38	10.18	11.77	10.67	11.00	11.80	14.39	AD
	下位群	7.17	8.86	5.93	5.94	7.34	5.77	9.89	10.91	12.36	12.43	11.46	14.39	D'
根菜	上位群	6.63	7.50	6.20	6.52	7.32	6.16	9.64	11.52	10.57	10.77	11.04	13.89	AD
	下位群	7.13	8.54	6.08	6.35	7.62	5.58	10.02	10.81	11.27	12.13	10.25	13.69	AD
いも類	上位群	6.20	7.76	6.30	6.30	6.94	5.37	9.58	10.86	10.91	11.58	10.59	13.80	D'
	下位群	7.10	8.96	6.34	6.40	6.78	5.51	9.82	11.28	11.41	11.87	10.65	13.47	AD
瓜類	上位群	7.79	8.68	6.52	7.48	7.68	6.11	9.69	10.79	11.60	11.34	10.76	14.03	A
	下位群	6.28	7.74	5.61	4.78	6.59	4.95	8.93	11.09	10.54	12.20	11.76	13.67	AC
なすトマト・ピーマン	上位群	7.72	8.43	6.90	7.17	7.97	6.20	9.96	10.72	10.70	10.61	10.16	13.80	A'
	下位群	6.68	8.63	5.51	5.79	6.74	5.38	9.79	11.40	11.26	12.23	11.62	14.38	AD
香辛料	上位群	6.11	8.05	5.56	6.76	7.15	5.29	10.03	11.61	10.89	10.89	12.16	14.10	AD
	下位群	6.74	8.61	6.41	6.00	6.98	5.67	9.54	10.49	11.79	12.87	11.02	13.64	D'
果物	上位群	7.48	8.50	6.48	6.85	7.67	6.13	9.52	10.40	11.17	11.00	10.96	14.00	AD
	下位群	6.24	9.17	5.26	5.48	6.21	5.26	10.12	11.88	11.14	12.43	11.74	14.26	D'
海藻類	上位群	7.83	7.89	6.71	7.06	7.63	5.73	10.27	10.57	10.47	11.18	10.76	13.76	AD
	下位群	7.37	7.98	5.96	5.41	7.12	6.23	9.47	10.37	12.03	12.51	10.37	14.16	D'

女子では、平均性格のAD型がほとんどであるが、平均嗜好度上下群、貝類、葉菜、香辛料、果物および海藻類の下位群、いも類の上位群が安定積極型の準型であるD'型を示した。

瓜類は、上下2群とも他の食品群と全くことなる類型を示した。すなわち、上位群のA型は平均型であるが、下位群のAC型は、男子にもみられない類型であり、これだけの資料では断言できないが、瓜類を好まない女子は、やや消極的であると言えそうである。

次に性格特性についてみると、男子の場合、主導性因子である社会的指導性Aと社会的外向性Sが、12の性格特性の中で食物の嗜好との関係において一番多く相関がみとめられた。これらA、Sにおいては、嗜好度の高い上位群が嗜好度の低い下位群より右よりの高い得点を示しており、例えば、肉を好む者は好まない者より社会的指導性があり、誰とでもつきあうことのできる性格の持ち主であると言えよう。

次に関係の深さがみられた性格特性は、社会的不適応因子ならびに活動性因子である攻撃性Agと衝動性因子の活動性Gであり、この2特性においても上位群が下位群より高い得点を示した。

その他、情緒不安定因子の回帰性傾向C、劣等感Iおよび神経質N、非内省性因子ののんきさRと思考的外向性Tなどにおいてもわずかであるが関係がみとめられ、これらにおいては、A、S、Ag、Gとは逆に上位群が下位群より左よりの低い得点を示していた。

つまり、嗜好度の高い者は低い者に比べて、D類型—安定積極型に近い傾向であると言えよう。

一方、女子の場合、食物嗜好と一番関係が多くみとめられた性格特性は、非内省性因子の思考的外向性Tで上位群が下位群よりも左よりにみられた。

衝動性因子ののんきさRおよび情緒不安定因子の神経質Nでも若干の相関がみられた。

女子では、男子と逆に嗜好度の高い者は低い者よりプロフィールがA類型—平均型に近い傾向を示していると言えよう。

このように、男子で相関が高くみられた性格特性Aは、女子では全然相関がみられなかったこと、逆に、思考的外向性Tは男子に比して女子の方に多く相関がみとめられたことは注目されよう。

IV 要 約

中学生の食物嗜好の実態と嗜好における食物相互の関連性ならびに食物嗜好と性格との関連について調べるために、本調査は附属中学校生徒を対象に実施された。

その結果を要約すると次のようであった。

(1) 全体的な傾向として、甲殻類、菓子、嗜好品、果物、瓜類、卵などが好まれ、根菜、葉菜、香辛料、魚貝類などは好まれていなかった。

(2) 食物嗜好の度合は、学年があがるにつれて低下する傾向がみられた。特に、牛乳、粉乳、

練乳、鯨肉、マカロニ、パン、めん類、コーヒー、ココア、麦茶などにおいては明瞭にみとめられた。

(3) 男女の性別により、ことなつた嗜好傾向がみられた。すなわち、動物性食品は全体的に女子より男子に好まれており、果物、果菜、きのこ類、根菜、いも類は男子より女子に好まれているといえる。

(4) アイスクリームがもっとも好まれていた食品である。

(5) 嗜好における食品相互の関係は、魚類、貝類、いた・たこ類、海草類の群、葉菜、根菜、いも類、瓜類、なす、トマト・ピーマン、果物の群というふうに性質の似たもの間に高い相関がみとめられた。なお、この傾向は、女子より男子の方に強くみられた。

(6) 平均嗜好度ならびに各食品群での性格類型は、男子にA型、女子にAD型が多くみられた。

(7) 食物嗜好との関係で一番多く相関がみられた性格特性は、男子では主導性因子である社会的指導性Aと社会的外向性S、女子では非内省性因子の思考的外向性Tであった。

以上であるが、今後、対象年令層や調査地域の拡大によって、これら結果の信ぴょう性を追求してゆきたい。また、食物嗜好がその調理法によってどのように変化がみられるかについても追求するつもりである。

最後に、本調査のため種々のご便宜を計っていただきました島根大学附属中学校教官各位に深く謝意を表します。この報告は昭和44年度および昭和45年度の日本家政学会中四国支部総会において発表した。

参 考 文 献

- (1) 稲垣長典；「食べものがあなたをつくる」（筑摩書房、1963）
- (2) 小池五郎、樋口恵子；「くらしの栄養ドクター」（女子栄養大学出版部 1967）
- (3) 川染節江；家政学雑誌，89，20（1968）